

○ 令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨等、近年、全国各地で水災害が激甚化・頻発化する中、三隅川水系においても、流域全体でハード・ソフト一体となった事前防災対策を進める必要があることから、あらゆる関係者の協働により、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川浚渫
- ・既存ダムの有効活用
- ・海岸保全施設の老朽化対策
- ・砂防堰堤の整備
- ・水田の貯留機能向上
- ・森林の整備・保全及び治山対策

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・防災まちづくりの検討に必要な情報の整備

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・浸水想定区域図やハザードマップ等の作成・周知
- ・河川監視体制の強化
- ・防災メール等の多様な手段による情報の発信・伝達
- ・防災講座等を活用した防災教育の推進
- ・自主防災組織の育成や活動の支援
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成や避難訓練の促進

【位置図】

三隅川水系



海岸保全施設の老朽化対策



昭和29年9月洞爺丸台風 浸水状況



昭和29年9月洞爺丸台風 浸水状況（琴橋付近）

砂防堰堤の整備



治山対策



市管理河川の浚渫

- ・水ヶ浴川
- ・樅の木川

湯免ダム



湯免ダム



凡例

- 二級河川
- 流域界
- 洪水浸水想定区域【計画規模(1/30)】
- 洪水浸水想定区域【想定最大】
- 洪水浸水想定区域図の公表済み区間



山口県土木防災情報システム

※地理院地図に浸水想定範囲を追記して掲載

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

○ 三隅川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の工程で「流域治水」を推進する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川浚渫	山口県、長門市	緊急浚渫 推進事業等	継続的な浚渫の実施	
	既存ダムの有効活用	山口県	ダムの事前放流等の実施		
	海岸保全施設の老朽化対策	山口県	継続的に施設の機能を保全		
	砂防堰堤の整備	山口県	下中小野川、下中小野溪流、宗頭川	継続的な砂防堰堤 の整備	
	水田の貯留機能向上	山口県、長門市	田んぼダムの検討等		
	森林の整備・保全及び治山対策	山口県、長門市	森林の整備・保全、治山対策		
被害対象を減少させる ための対策	防災まちづくりの検討に必要な情報の整備	山口県	多段階な浸水 リスク情報		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	浸水想定区域図やハザードマップ等の作成・周知	山口県、長門市	作成・周知・利活用		
	河川監視体制の強化	山口県、長門市	R5山口県土木防災情報システムのリニューアル システム更新	簡易型水位計・河川監視カメラ等の整備・利活用	
	防災メール等の多様な手段による情報の発信・伝達	山口県、長門市	機能強化・普及・啓発		
	出前講座等を活用した防災教育の推進	山口県、長門市	防災教育の充実・強化		
	自主防災組織の育成や活動の支援	山口県、長門市	率先避難体制の整備・地域防災力の向上		
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成や避難訓練の促進	山口県、長門市	避難の実効性確保		

気候変動を踏
まえたさらなる
対策を推進